

授業名称：防災分野における GIS 活用方策

シラバス

概要：

本講義では、地方公共団体における防災分野の業務において、地理空間情報や GIS の活用を進めるための基本的な考え方、あるべき庁内体制と情報伝達・共有のあり方、先進活用事例などを学び、ディスカッションを通じて問題意識を共有し、演習の基礎とする。

学習目標：

- ・防災分野における GIS 活用の基本的な考え方を理解できる。
- ・組織・体制と情報伝達・共有のあり方について理解できる。
- ・防災分野における GIS 活用の実態・課題について理解できる。
- ・先進活用事例について知見を広げる。
- ・ディスカッションを通して、実態・課題、活用方策についての問題意識を持つことができる。

受講対象：

地方公共団体等において、防災に関連する業務に従事し、GIS 活用に取り組んでいる、または取り組もうとしている職員。

- (1) 防災部門に所属し、的確に災害予防対策等を行う人材
- (2) 福祉部門に所属し、災害時の要援護者避難などの面で防災部門と協力・連携する人材
- (3) まちづくり部門に所属し、防災施設の整備・改良などの面で防災部門と協力・連携する人材
- (4) 情報部門に所属し、災害情報の集約・可視化・共有などで各部門と協力・連携する人材
- (5) その他防災に関わる業務全般に関して、地理空間情報の活用に取り組む人材

教育手法：

講義、ディスカッション

担当講師及び講師の必要要件：

地方公共団体における防災業務の基本的な内容・流れや、防災業務における地理空間情報および GIS の活用方法、効果、課題及び先進事例等についての知識・経験を有し、グループディスカッションにおいて的確な支援が行えること。

参考資料：

特になし

キーワード：

情報の伝達・共有・可視化、組織マネジメント